

隅 藏 康 一 准教授

専門分野：知的財産政策、科学技術イノベーション政策

学 位：博士（工学、東京大学）

略 歴：1993年東京大学理学部卒、1995年同大学院理学系研究科生物化学専攻修士課程修了、1995年同大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程進学、1998年博士（工学）学位取得、同年東京大学先端科学技術研究センター客員助手、1999年同センター助手、2001年本学助教授、2007年本学准教授。2012年6月より文部科学省科学技術政策研究所（2013年7月より文部科学省科学技術・学術政策研究所に名称変更）第2研究グループ総括主任研究官、本学連携准教授。2014年6月より本学准教授、文部科学省科学技術・学術政策研究所第2研究グループ客員総括主任研究官（2015年6月まで）。2016年本学教授。

1. 業 績 (A)

(1) 図 書 (編 著)

- * 近藤恵嗣編著『新技術活用のための法工学 リスク対応と安全確保の法律』（民事法研究会）、2016年2月：隅藏が、7名の編集委員のうちの一人

(2) 雑誌論文 (単 著)

- * 隅藏康一 (2016) 「オーダーメイド医療時代のリスクと安全」、近藤恵嗣編著『新技術活用のための法工学 リスク対応と安全確保の法律』（民事法研究会）、243-269。

(3) 学会発表

- * 隅藏康一「イノベーションの定義を再考する」、日本機械学会 2015年度年次大会、北海道大学、2015年9月14日。
- * 齋藤裕美・隅藏康一「日本の製薬企業における開発過程：実証的考察」、日本機械学会 2015年度年次大会、北海道大学、2015年9月14日。（口頭発表は齋藤による）
- * 桑原裕・隅藏康一「グローバル・イノベーションを目指すダイアログ・プロジェクト」、日本機械学会 2015年度年次大会、北海道大学、2015年9月14日。（口頭発表は桑原による）
- * Siriporn Pittayasophon, Patarapong Intarakumnerd, Koichi Sumikura, Hiromi Saito and Jun Suzuki “Influence of Firm Characteristic and Effect of Mode on Collaboration between University and Industry: Case of Japan and Thailand,” 12th ASIALICS, Indonesia, September 15-17th, 2015 (best paper award).（口頭発表はPittayasophonによる）
- * 齋藤裕美・隅藏康一「医薬品の開発過程の実証的考察：疾患領域・技術に着目して」、研究・技術計画学会第30回年次学術大会、早稲田大学、2015年10月11日。（口頭発表は齋藤による）
- * 枝村一磨・隅藏康一・古澤陽子「日本の民間企業の研究開発活動に関する経時変化」、研究・技術計画学会第30回年次学術大会、早稲田大学、2015年10月11日。（口頭発表は枝村による）
- * 隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨・福澤尚美・小沼良直「外部知識の活用とイノベーション」、研究・技術計画学会第30回年次学術大会、早稲田大学、2015年10月11日。（口

頭発表は隅藏による)

- * 小沼良直・今村努・佐藤健生・林隆臣・隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨・福澤尚美「日本企業におけるイノベーション・マネジメントの取組事例や課題」、研究・技術計画学会第30回年次学術大会、早稲田大学、2015年10月11日。(口頭発表は小沼による)
- * 隅藏康一・枝村一磨・古澤陽子「日本の民間企業から見た産学連携の現状と課題」、日本知財学会第13回年次学術研究発表会、東京大学、2015年12月5日。(口頭発表は隅藏による)
- * 齋藤裕美・隅藏康一「新規医薬品創出への大学基礎研究の貢献:国際比較を中心として」、日本知財学会第13回年次学術研究発表会、東京大学、2015年12月5日。(口頭発表は齋藤による)
- * 古澤陽子・枝村一磨・隅藏康一・坂田哲人「大学等における研究マネジメント人材と産学連携パフォーマンスの関係」、日本知財学会第13回年次学術研究発表会、東京大学、2015年12月5日。(口頭発表は古澤による)
- * 枝村一磨・隅藏康一・古澤陽子・福澤尚美「企業の知的財産活動に関する調査—平成26年度民間企業の研究活動に関する調査より—」、日本知財学会第13回年次学術研究発表会、東京大学、2015年12月6日。(口頭発表は枝村による)

(4) その他

- * 古澤陽子・枝村一磨・隅藏康一『規制が企業の研究開発活動に与える影響』、NISTEP DISCUSSION PAPER No.122、2015年。
- * 文部科学省科学技術・学術政策研究所 第2研究グループ(隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨・福澤尚美)『民間企業の研究活動に関する調査報告2014』、NISTEP REPORT No.163、2015年。
- * 講演：日本機械学会2015年次大会、ワークショップ「規制とイノベーション」、2015年9月14日
- * 講演：日本知財学会第13回年次学術大会、分科会セッション「知財研究論文の執筆に向けて」、2015年12月5日
- * 座長：日本知財学会第13回年次学術大会、産学連携及び新規事業セッション、2015年12月6日

2. 業績(B)

(1) 書評・解説等

- * 隅藏康一(2015)「日本企業の研究開発活動の現状—業種別の特徴に着目して—」、『日本機械学会誌』、118巻、354-355。
- * 隅藏康一(2015)「連続講座「法と経済で読み解く技術のリスクと安全」」、『日本機械学会誌』、118巻、526(機械工学年鑑2015の24・1)。
- * 森下竜一(語り手)／隅藏康一・齋藤裕美(インタビュアー)(2015)「日本の医療分野における規制改革の動き」、『研究技術計画』、30巻、68-73

(2) その他

- * 隅藏康一「イノベーションの定義を再考する」『日本機械学会2015年度年次大会講演論文集』、CD-ROM中5頁(2015年)
- * 齋藤裕美・隅藏康一「日本の製薬企業における開発過程：実証的考察」『日本機械学会

- 2015 年度年次大会講演論文集』、CD-ROM 中 5 頁 (2015 年)
- * 桑原裕・隅藏康一「グローバル・イノベーションを目指すダイアログ・プロジェクト」『日本機械学会 2015 年度年次大会講演論文集』、CD-ROM 中 5 頁 (2015 年)
 - * 齋藤裕美・隅藏康一「医薬品の開発過程の実証的考察：疾患領域・技術に着目して」『研究・技術計画学会年次学術大会要旨集』30 巻、406－411 頁 (2015 年)
 - * 枝村一磨・隅藏康一・古澤陽子「日本の民間企業の研究開発活動に関する経時変化」『研究・技術計画学会年次学術大会要旨集』30 巻、516－519 頁 (2015 年)
 - * 隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨・福澤尚美・小沼良直「外部知識の活用とイノベーション」『研究・技術計画学会年次学術大会要旨集』30 巻、520－523 頁 (2015 年)
 - * 小沼良直・今村努・佐藤健生・林隆臣・隅藏康一・古澤陽子・枝村一磨・福澤尚美「日本企業におけるイノベーション・マネジメントの取組事例や課題」『研究・技術計画学会年次学術大会要旨集』30 巻、853－856 頁 (2015 年)
 - * 枝村一磨・隅藏康一・古澤陽子・福澤尚美「企業の知的財産活動に関する調査—平成 26 年度民間企業の研究活動に関する調査より—」『日本知財学会第 13 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁 (2015 年)
 - * 隅藏康一・枝村一磨・古澤陽子「日本の民間企業から見た産学連携の現状と課題」『日本知財学会第 13 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁 (2015 年)
 - * 齋藤裕美・隅藏康一「新規医薬品創出への大学基礎研究の貢献：国際比較を中心として」『日本知財学会第 13 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁 (2015 年)
 - * 古澤陽子・枝村一磨・隅藏康一・坂田哲人「大学等における研究マネジメント人材と産学連携パフォーマンスの関係」『日本知財学会第 13 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁 (2015 年)

3. 助成金等による研究

- * 科学研究費補助金（基盤研究 B）「学術的知識の導入が企業におけるイノベーション創出に及ぼす影響」研究代表者（2015 - 2017 年度）
- * 厚生労働科学研究費補助金 創薬基盤推進研究事業「創薬支援のためのバイオリソースデータベースのネットワーク整備と政策・倫理課題に関する研究」（研究代表者：松山晃文 独立行政法人医薬基盤研究所 難病・疾患資源研究部 部長）研究分担者

4. 教育

(1) 講義

- * 高等教育政策・産学連携政策 / Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation (秋学期)

(2) 演習

- * 科学技術イノベーション政策 リサーチセミナー / Science, Technology and Innovation Policy, Research Seminars I-IV

(3) 論文指導

- * 科学技術イノベーション政策プログラム：博士課程 3 名（主指導 2 名、副指導 1 名：学位取得）

5. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * 科学技術イノベーション政策プログラム（修・博）・コミティー
- * 図書館運営委員会
- * 不正防止計画推進室

(2) その他

- * GIST セミナー「大学発ベンチャーの成功と発明者の関与に関する研究」(10/15)
- * 産学連携人材の育成に関する研究会（政策研究センター学術会議支援事業、全10回）
- * GRIPS・NISTEP・JSA 標準化討論会「生物模倣技術の社会実装に向けた標準化」セミナー（3/22）
- * 図書選定（総合政策グループ）

6. 社会的貢献（A）

(1) 国および地方公共団体における審議会等の活動

- * 衆議院経済産業調査室 客員調査員
- * 農林水産技術会議 平成27年度委託プロジェクト研究「ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト」運営委員会 委員
- * 裁判所 専門委員（東京高等裁判所、東京地方裁判所、大阪地方裁判所所属）

(2) 他大学・研究所等における活動

① 非常勤講師

- * 東京理科大学 総合科学技術経営研究科 知的財産戦略専攻 知財学特論A「バイオ特許戦略」（前・後期に各2単位）
- * 東京大学大学院 総合文化研究科 統合自然科学科「知財・技術経営論」（2単位）
- * 早稲田大学大学院 理工学術院 「知的所有権特論」（1単位）
- * 東京工業大学 情報生命博士研究院 「情報生命特別講義第四」（1単位）
- * 総合研究大学院大学 学融合レクチャー「科学技術倫理と知的財産権 II 応用編」の一部として、「生命倫理」ならびに「生命倫理と知的財産」の講義を実施（90分2コマ）
- * 早稲田大学大学院 理工学術院 「「細胞を創る」科学」の一部として、「合成生物学と知的財産」の講義を実施（90分2コマ）
- * 東京大学 ライフイノベーションリーディング大学院 “Life Innovation Leadership Development” の一部として、“Research Ethics, Laboratory Management and Intellectual Property” の講義を実施（90分1コマ）
- * 大阪工業大学大学院 知的財産研究科 「現代知的財産制度特論」の一部として、「バイオテクノロジーと特許の課題」の講義を実施（90分1コマ）

② 委員会等

- * 東京大学医科学研究所 オーダーメイド医療の実現プログラム ELSI 検討委員会 委員

③ その他

- * 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第2研究グループ 客員総括主任研究官（2015年5月まで）、客員研究官（2015年6月から）
- * 文部科学省 科学技術・学術政策研究所・科学技術動向調査センター 専門調査員
- * 信州大学大学院 医学系研究科 CITI Japan (Collaborative Institutional Training Initiative)

- Japan) プロジェクト 外部協力教員、教材改訂査読
- (3) 財団法人等における活動
- ① 役員, 委員会
- * 知的財産教育協会 知的財産管理技能検定 技能検定委員
 - * 認定特定非営利活動法人健康と病いの語りディペックス・ジャパン 倫理委員会 委員
 - * 医学系大学産学連携ネットワーク協議会 (medU-net) 相談役
 - * 公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金 運営委員
 - * 公益財団法人東京都中小企業振興公社 東京と知的財産総合センター グローバルニッチトップ助成事業 審査委員
 - * 一般社団法人発明推進協会 産業財産権人材育成協力事業 フィリピンからの研修生 (1名) のアドバイザー
- ② その他
- * 特定非営利活動法人 21 世紀構想研究会 メンバー (知的財産委員会 委員)
- (4) 学会等における活動
- * 研究・技術計画学会 (2015 年 10 月より研究・イノベーション学会に改称) 事務局担当理事
 - * 日本知財学会 学会誌企画委員長
 - * 日本機械学会 法工学専門会議 運営委員長
 - * 日本機械学会 NEDO 委託事業「法と経済で読み解く技術のリスクと安全」実行委員会 委員
 - * *Asian Research Policy*, Editorial Board Member

7. 社会的貢献 (B)

- (1) ジャーナリズムを通じた発言
- ① 活字メディア
- * コメント: 医薬品の特許をめぐる訴訟の最高裁判決について、読売新聞朝刊 2 面、2015 年 6 月 6 日
- (2) 講演会, 座談会, 会議出席
- * 講演: NISTEP セミナー、「民間企業の研究活動に関する調査報告 2014」、2015 年 5 月 14 日
 - * 講演: J-FIT Conference “New Approaches for the Promotion of Innovation, Science and Technology: Bridging Japan and San Diego,” “The Commercialization of Bio-Science,” UCSD, San Diego, May 19th, 2015.
 - * 講演: Workshop “Furthering the research enterprise to foster knowledge transfer and commercialization,” “Commercialization of academic knowledge in bio-science,” RCAST, University of Tokyo, June 8th, 2015.
 - * 講演: 知的財産マネジメント研究会、産学連携によるイノベーション分科会、「日本の民間企業の R&D の現状」、2015 年 7 月 11 日
 - * 講演: 福岡歯科大学セミナー、「ラボ・マネージメントのためのラボノートの活用」、2015 年 8 月 7 日

- * 講演：1st Asian Innovation Forum, “Analysis of innovation in Japanese corporations,” Seoul, August 25th, 2015.
- * 講演：平成 27 年度第 3 回東北農業研究センターセミナー「実験ノートを考える：研究者に求められる倫理とは？ 研究記録とは？」、「ラボ・マネジメントのための実験ノートの活用」、2015 年 11 月 12 日
- * モデレータ：第 12 回 DIA 日本年会「医療分野のこれからの知財戦略～シーズを産官学が連携して育てるうえでの理想的な知財戦略を考えよう～」セッション、2015 年 11 月 16 日
- * 講演：知的財産マネジメント研究会、全体セッション、「新技術のリスクと安全～日本機械学会の事業で抽出された課題の総括と、今後の展望」、2016 年 2 月 6 日
- * パネリスト：第 5 回超異分野学会、シンポジウム「日本発のオープンイノベーションを考える」、2016 年 3 月 13 日
- * パネリスト：GRIPS・NISTEP・JSA 標準化討論会「生物模倣技術の社会実装に向けた標準化」セミナー、2016 年 3 月 22 日
- * 総合オーガナイザーとして主宰：知的財産マネジメント研究会（Smips）、2015 年 4 月 11 日、5 月 16 日、6 月 13 日、7 月 11 日、9 月 12 日（「第 15 回知的財産・産学連携ワークショップ」として開催）、10 月 17 日、11 月 14 日、12 月 12 日、2015 年 1 月 9 日、2 月 6 日、3 月 5 日